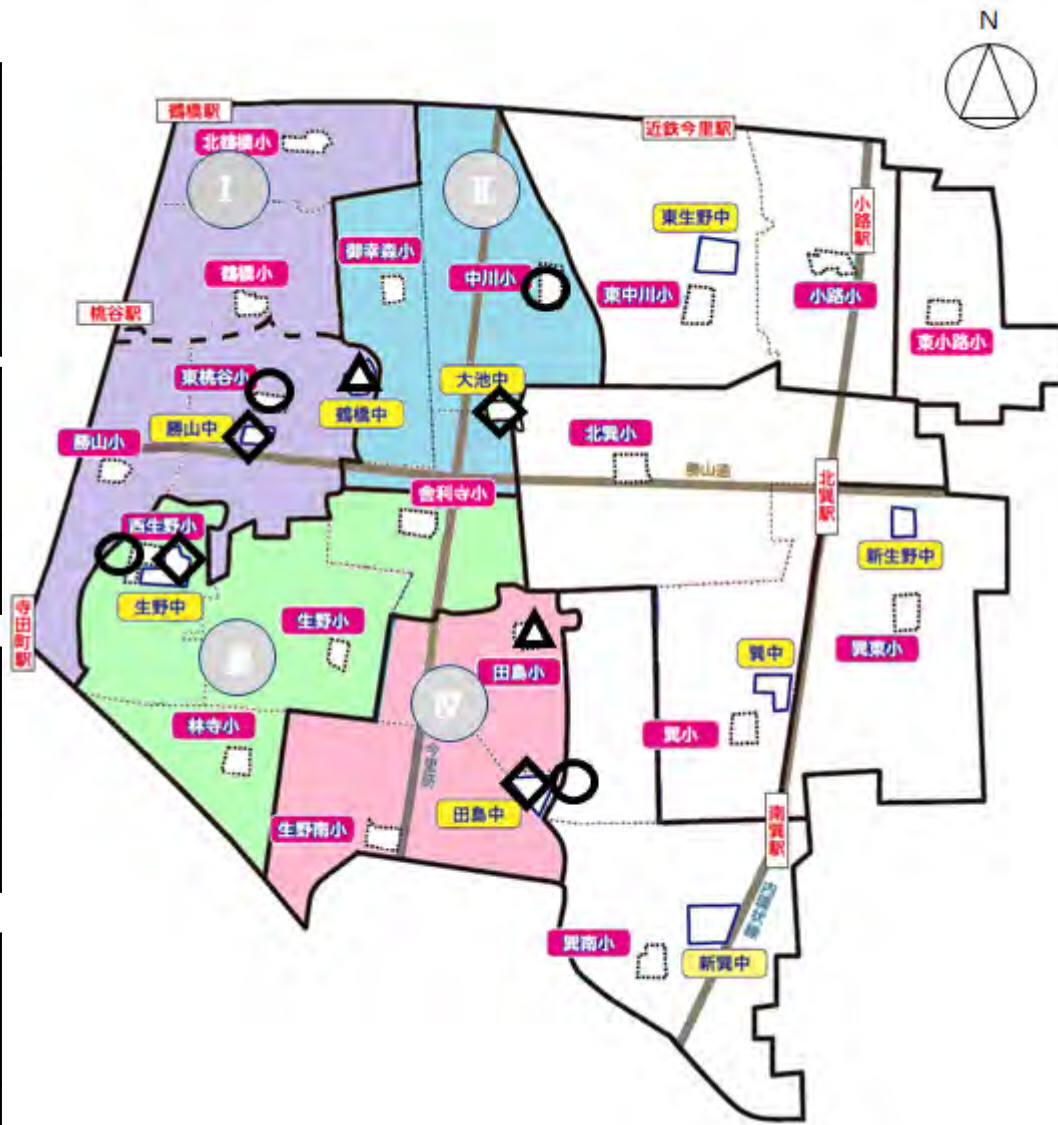
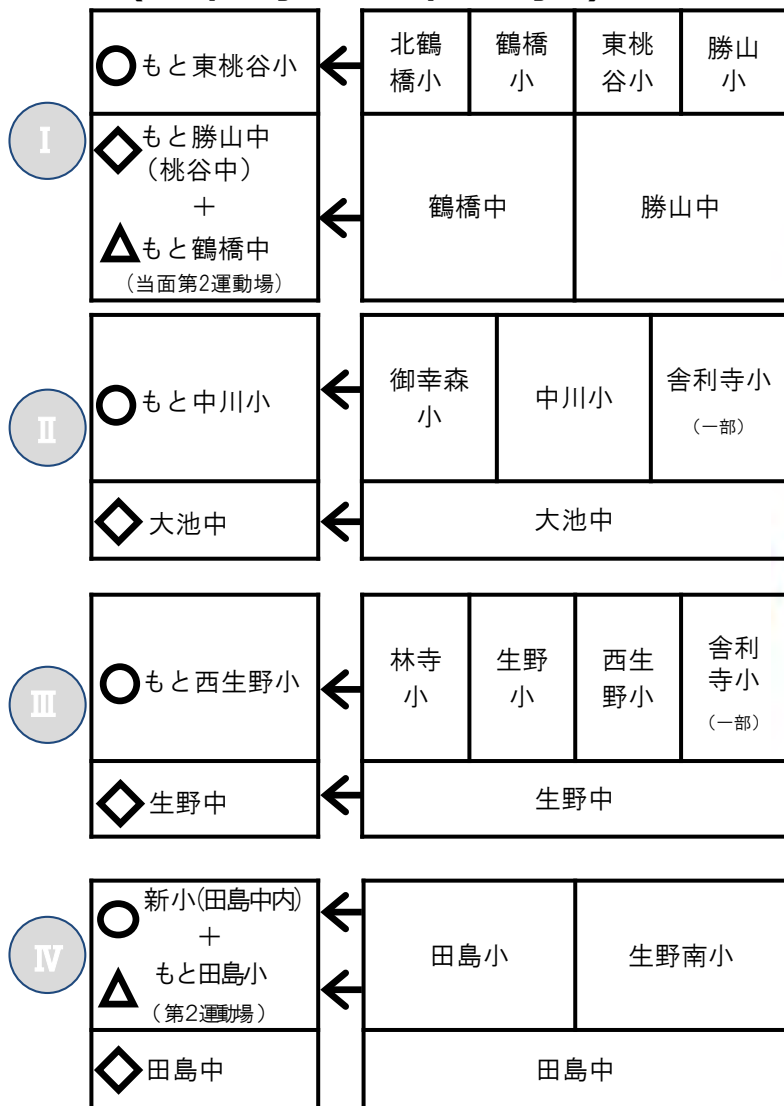


生野区西部地域学校再編整備計画

生野区西部地域再編概要図

(4中4小 ← 5中12小)



➤ 学校の魅力化

小中一貫によるよりよい教育環境づくり

「小中連携アクションプラン」

本市の全小中学校において、中学校進学への不安減少や小・中学校の教職員の協力した指導等による学力向上をめざし、平成22年度に策定し小中一貫した教育を推進

自立学習

小中一貫した家庭学習指導

市や区の施策を活用した
自立学習・個別学習支援

主体的・対話的で深い学
び（アクティブ・ラーニ
ング）の研究と導入

情報活用能力の向上をめざ
した図書室やICT活用

集団の中で学び合う

×

個に応じた支援

両輪で子どもを伸ばす

中学校



小中学校教員の連携



小学校

生野のキャリア教育

小中一貫したプログラム
（キャリアパスポートの導入）

区や市教委との連携による
体験授業や出前講座の充実

地域産業等の特色を
活かした地域と連携した
体験活動の充実

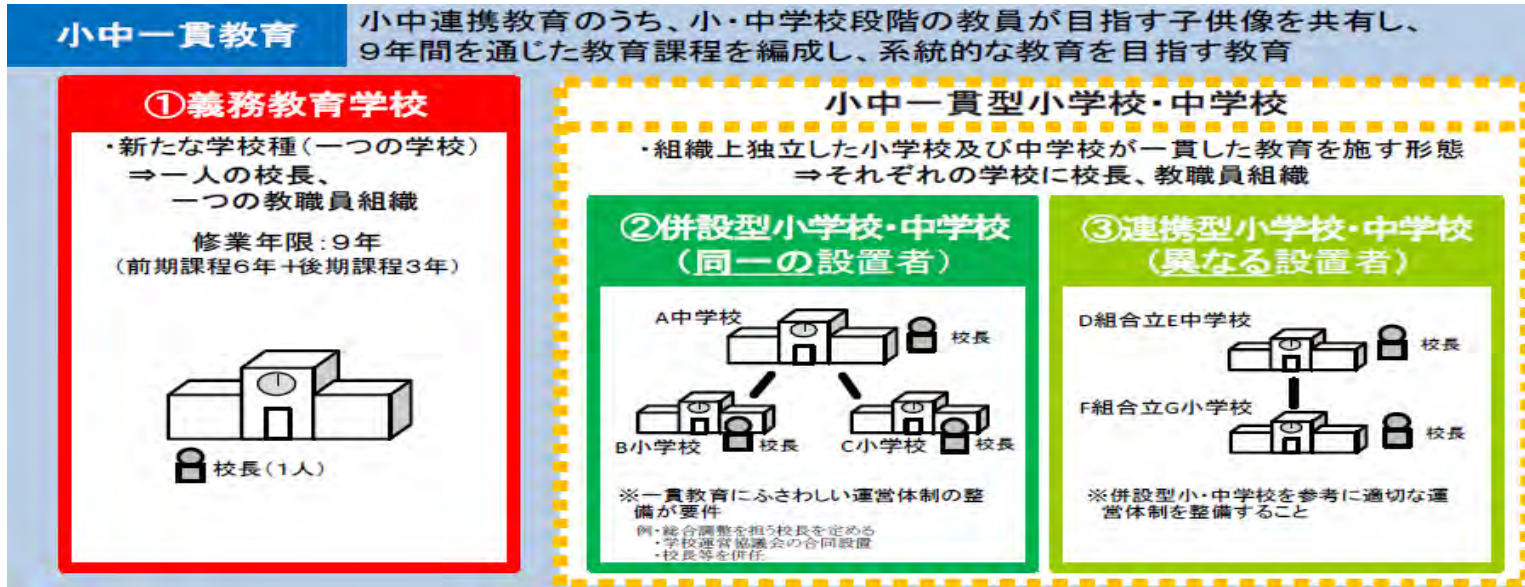
生野版・チーム学校

区や市の施策を活用した専門
人材・外部人材の活用

チームを機能させる支援

【小中一貫教育について】

○義務教育学校、小中一貫校の違い



○全国的な動向

これまで運用上行われてきた小中一貫教育の取組では、小・中学校が別々の組織として設置されていることから、教育主体・教育活動・学校マネジメントの一貫性の確保等に課題があり、小中一貫教育を効果的・継続的に実施していく上で就学年の固定化など一定の限界が存在するため、現場からも義務教育学校の制度化の要望が国に対して寄せられていた。文部科学省では、地域の実情に応じた柔軟な取組を可能とするために制度改正を行い、平成28年4月1日から、小中一貫教育として義務教育学校が設置可能となった。このことを受けて、北は北海道から南は鹿児島県まで義務教育学校が設置され、平成30年5月現在80校を超えてきている。

○生野中学校区における義務教育学校の設置について

これまで、本市の全小中学校において、中学校進学への不安減少や小・中学校の教職員の協力した指導等による学力向上をめざし取り組んでいる。特に、平成22年度からは、各校の「小中連携アクションプラン」を策定し、小中一貫した教育を推進してきた。

平成24（2012）年度には、本市の小中一貫した教育を特色とした施設一体型小中一貫校を設置し、その後、学校配置の適正化を契機として、必要に応じて設置を進めてきた（施設一体型5校設置）。

この間、国では、平成28（2016）年に法改正され、学校教育制度の多様化及び弾力化を推進するため、小中一貫教育を実施することを目的として義務教育学校の設置が可能になった。

一方、生野中学校は、4つの小学校から1つの中学校に進学することもあり、学力向上・生活指導の両面から小中の連携や接続が課題となっていた。

そこで、2022年4月開校予定の生野中学校区の学校を義務教育学校とすることとした。具体的には、義務教育学校の特長である小学校・中学校両方の免許所有者の配置を活かした学力補充や子ども理解など教育内容面でのモデル校とすることにした。

今後は、これまでの施設一体型小中一貫校の成果の更なる深化・充実と9年間で子どもを育てるプロセスの開発に取り組むなど、特色ある学校づくりを行う予定である。



目標

次代を生き抜く力の育成

- ①グローバル化をリードする子の育成
英語教育、多文化共生教育
- ②多様性を活かす、個性を伸ばす教育
「ちがい」を知り、多様な考えを養う
小5・6年生からの部活動も可能に
- ③地域の教育力を活かす
地域で地域のことを学ぶキャリア教育

★大阪市初の義務教育学校

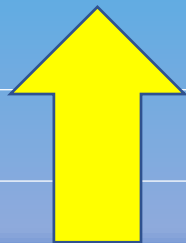
目標を実現するために

9年間を見通した「つながり」のカリキュラム（※別掲）
教員の加配 子どもたちの不安によりそう、多様な学習形態で学習
小規模校の良さを活かす 個に応じた学びの実践
タブレット 宿題を通してその日のうちにふりかえり
安心・安全 様々な異学年交流、自律する力・思いやりの心の育成
まちのチカラ 地域の人材、企業などを活かす

最重要目標 子どもが安心して成長できる安全な社会の実現
心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く学力・体力の向上

生野の教育 ①自立学習 ②キャリア教育 ③チーム学校

保護者の思い・地域の願い



9年間を見通した「つながり」のカリキュラム

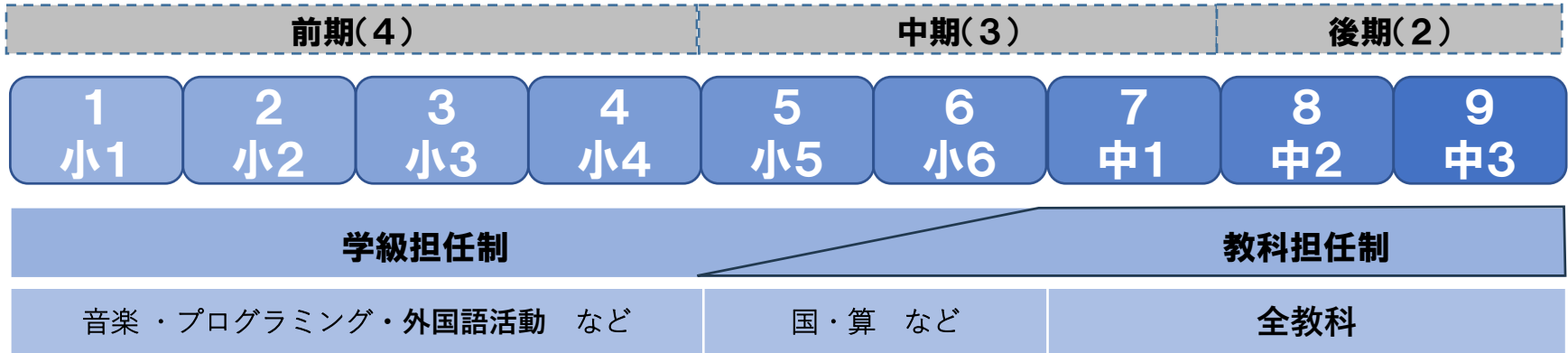
ポイント

- ① 効果的な指導内容の**入れ替え**
- ② 小中それぞれの**専門性を活かした授業**
- ③ **学びの連続性**を活かした学力向上

4-3-2年の区切り

次代を生き抜く力の育成

これからの時代を生き抜く力(未来を切り拓く学力・体力・豊かな人間性)の育成



すべての学年で「習得⇒活用⇒探究」の授業実践

児童・生徒の**発達段階**に合った指導 と **教科の専門性**を活かし**個に応じた**指導